

2019年度かつらぎ町立梁瀬小学校スクールプラン

【学校教育目標】

知・徳・体のバランスのとれた児童の育成

【めざす児童像】

- ・学習の中で、「なぜ」、「どうやって」を意識できる児童
- ・相手の目を見て、挨拶・返事ができる児童
- ・他の人のことを考えて、掃除・靴そろえができる児童

めざす職員像

- ・丁寧に、児童を見る目と児童の話聞く耳を持つ職員
- ・他の職員と協力をしながら、すぐに動ける職員
- ・充実した指導のために、学び続ける職員

学校運営協議会より

- ・児童に対して、個に応じたきめ細かい指導が見てとれる。
- ・地域との連携で、学校からの具体的要望がわかりにくい。

保護者の願い

- ・学力を定着させてほしい
- ・安心して、中学校へ入学できる力をつけてほしい
- ・郷土を愛する心を育ててほしい

	確かな学力	豊かな心	健やかな体	地域等との連携
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本の定着 ・家庭学習習慣の定着 ・思考・表現力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育の充実 ・いじめの未然防止 ・思いやりの心の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力の向上推進 ・基本的生活習慣の獲得・定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・花ぞの笑顔運動の展開 ・地域・幼稚園・学校との連携充実
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・算数的活動を通して、知識と技能の習得を図る。 ・(10分×学年+10分)の家庭学習時間を確保すると共に、学年に応じた学習ができるよう取り組む。 ・「話す・聞く能力」、「書く能力」、「読む能力」を系統的にとらえ、個に応じて必要な指導を行う。 ・補充学習や朝学・朝読に取り組む。 ・思考力・表現力を高めるノート指導を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳科の時間数の確保及び内容の充実を図る。 ・基本的生活習慣の確立に努め、「早寝早起き朝ごはん」運動を推進する。 ・個々の児童に対する生活実態調査を継続し、指導に活かしていく。 ・家庭・地域と連携し、豊かな体験の機会を増やし、内容の充実に努める。 ・全校一斉による話し合い活動・学校集会活動の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数学年での実施等、本校の特性を活かして体育の時間の充実を図る。 ・休み時間の過ごし方を工夫する。(ロング休憩・昼休憩における全員遊び) ・一輪車やチャレンジランキング等を活用した体力作りを行う。 ・食育の推進を図る。 ・個々の児童を対象とした健康観察調査を継続し、指導に活かしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・花園幼稚園との連携をより密にし、地域の教育機関としての役割を果たしていく。 ・社会福祉協議会を通して、高齢者との交流を継続する。 ・学校運営協議会の協力を得て、ふるさと先生(クラブ活動・手話指導等)の実施方法を再構築する。 ・笠田中学校区内の学校と交流を進める。
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力学習状況調査・和歌山県学習到達度調査において、基礎的な内容の正答率80% ・土日及び長期休業中も含めた上記の家庭学習時間の達成率80% 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳科の授業を各学年年間35時間以上 ・毎朝の生活実態調査において、基本的な生活習慣の達成率100%の月を6ヶ月以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国体力・運動能力調査において、全国平均以上 ・一輪車で全員が自立走行及び学年に応じた技能の習得 ・チャレンジランキングで昨年度の記録を更新 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や家庭に学校の様子より伝わるようにする。(保護者指標4.75) ・他小学校との児童の交流機会を年間3回以上

【研究主題】 自ら考え、判断し、表現する力を育成するための指導方法の工夫

※ 花ぞの笑顔運動

児童が育てた花の配布等を通して、学校が地域貢献を行っていく活動です。最初は「花いっぱい運動」のように、花を含んだ運動名をつけようと考えましたが、児童から「花の配布だけではなく取り組みの内容を広げて花園のみなさんが笑顔になれるような運動にしたい。」という意見があり、この名称に決まりました。(右はシンボルマーク)

